

ようこそ私立幼稚園へ

神奈川県私立幼稚園連合会で発行している会報「神私幼」父母の会版を加盟園保護者の皆様にお届けします。

幼稚園と保護者が充実するよう説得力ある提案を

神奈川県私立幼稚園父母の会連合会

会長 寺尾 康子



父母の会の皆さまにおかれましては、日々ご協力いただきまして誠にありがとうございます。日々の子育て誠にお疲れ様でございます。

令和5年度神奈川県私立幼稚園父母の会連合会の会長を務めさせていただきます川崎市みゆき幼稚園の寺尾康子と申します。

子どもが幼稚園に入園するまで、私の中で神奈川県は出生率が高く、親子・家族連れが多い印象でした。しかし近年少子化が加速し、それに伴い学校や園で閉園が危ぶまれているのが現状です。

私の出身校も合併や閉校となったとき、青春の思い出を消されたような喪失感を覚えました。明日を担う子どもたちにはそうした喪失感に苛まれぬよう、単立っていった学校や園には未永く伝統を受け継いでいていただきたいという思いから、本年度も常任委員会委員に立候補させていただきました。そして本年度は全日本私立幼稚園PTAの常任委員として、こども家庭庁のこども審議会議の分科会委員も務めさせていただくこととなりました。こども未来戦略方針にともない様々な議論がなされており、保護者という立場でさらに一層子育てしやすい環境になりますよう、たくさん意見させていただきます。

本年度はコロナ禍でご出産されたお子様が入園いただいているのではないのでしょうか。立ち会い出産ができないなどの様々な制限があった中、皆さまよく乗り越えてこられたと思います。ただでさえ育児中は産前のように友人との息抜きができる時間がなくなるのにもかかわらず、家族や友人とのコミュニケーションも制限されたなかで、お子様と向き合っている姿を想像すると胸が熱くなります。近年目紛しく変わる育児環境の中、お子様に真摯に向き合ってきた親御様がこれからもご家族との時間がさらに幸せでありますよう、神奈川県のお子様と心身ともに健やかに成長されますように、幼児教育のさらなる安全や補償充実・保護者負担の軽減につきまして、もっと説得力のある提案ができればと考えております。

今年は制限が緩和されましたので活動しやすくなることを期待し、皆さまのご意見を忠実に進めていけるよう努めてまいります。様々な場で意見させていただく機会が増えると思いますので、是非ともみなさまにも研修大会のご参加やYouTube配信などをご確認いただきまして、もっとこうしたら育児しやすいのではと感じた際には是非ともご意見いただけましたら幸いです。

精一杯頑張りますので、引き続きご指導ご鞭撻のほど何卒よろしくお願ひ申し上げます。

『何でも見てやろう、何でもやってみよう。』

公益社団法人神奈川県私立幼稚園連合会

会長 木元 茂



令和5年度は新型コロナウイルス感染症も第5類に移行したため、園活動もコロナ以前に戻り、多くの園で恒例行事が再開できたことと思います。一方で、夏の猛暑が厳しく炎天下での活動を見合わせ、お部屋の中で過ごす日が続き、さらには熱中症指数も水温も上がりすぎて、プール活動さえ中止という日もありました。当園でも、朝から保育室のエアコンをフル稼働させたため電気のブレーカーが落ちてしまうこともあり、契約アンペア数もアップせざるを得ませんでした。

私は北海道出身で40～50年前の幼い頃の厳しい寒さも、冷涼な夏も覚えています。あの頃と比べると気候の変化が激しすぎて、日常生活さえも危険だと感じています。北海道で以前は見かけなかった魚が水揚げされたり、冷害でお米が不作の年も多かったのに、(米どころがどんどん北上して)今では美味しいお米も収穫できるようになりました。雪まつりの雪像も溶けて崩れるという事態も生じています。どれもこれも、この50年間の私たちの快適な生活の代償と考えられます。

SDGsの目標13では「気候変動とその影響に立ち向かうため、緊急対策を取る」と掲げられています。空も海も全て地球上では繋がっているのですから、世界中のみんなが一斉に考えて行動を始めないといけないのです。今の子どもたちが大人になる20年後30年後にはさらに厳しい状況になるのは間違いありません。そんな私たちに元気を与えるために世界の多くの方に尊敬されていた元国連難民高等弁務官の緒方貞子さんが以下のような「エール」を送ってくれています。

「日本の中だけで安住していると、世界は大きな変化を遂げつつあるので、その中で日本はうまく対応していけないんじゃないですか。もうちょっと世界を知って他の国々と一緒になっていかないと、結局“共感”というのが持ち得ない。それが続くと日本はだんだん弱小の国になり、他の国の人々に尊敬されなくなります。内向きのことばかり考えずに、広がりをもった日本をつくっていただきたい。」

「これからの若い人には、『何でも見てやろう、何でもやってみよう。』そういう意気を持って欲しい。人間とはどんなものなのか、世界にはどういう人がいるのか、自分の仕事はどういうものかということを感じて、自分の視野を広げて欲しい。問題が生じたら向き合って、ぶち破いていかないとね。危機とか難局というのは、乗り越えるためにあるものです。」

ご家族の皆さんと幼児教育の担い手である私たちが共に問題意識をもって、子どもたちが世界で活躍できるよう協力してまいりましょう。

※緒方貞子(1927～2019)日本人で初めての国連難民高等弁務官。世界の紛争地に赴き、難民の支援に取り組み続けた。紛争の敵対勢力と向き合う能力は『身長5フィート(約150センチ)の巨人』と称賛された。

子育て中でもキレイを保つ さわやかパパ・かわいいママでいるために

ビューティ・ライフスタイルデザイナー
MICHIKO. LIFEプロデューサー
信州大学特任教授

藤原 美智子 氏
MICHIKO FUJIWARA

令和5年11月14日(火) 神奈川県立音楽堂

●受付/9時30分～ ●開会式/10時00分～10時40分 ●講演/10時40分～12時00分



街路樹もすっかり葉を落とし、すぐ近くに冬の訪れを感じる季節となりました。今年度も昨年同様に対面で開催すると共に、YouTubeによるアーカイブ配信も実施しました。

当日は心地よい秋晴れとなり、会場となった県立音楽堂には県内全域から多くの皆様にお集まりいただきました。

開会式では、父母の会連合会・水澤孝雄副会長より開会の言葉があり、続いて父母の会連合会・寺尾康子会長、神奈川県私立幼稚園連合会・木元茂会長より挨拶がありました。また、ご来賓の方々を代表して、神奈川県知事代理副知事・首藤健治様、神奈川県県議会議員・加藤元弥様、神奈川県私立学校審議会会長・松田良昭様の3名の方に子どもたちの明るい未来に向けたお話を頂きました。私たちがの子育てには、多くのご支援とご協力があって成り立っている事を改めて感じました。そして、未来を担う子ども達が心身ともに健やかに成長することを願う宣言をもって開会式が終了しました。

その後の講演会では、ビューティ・ライフスタイルデザイナー、MICHIKO. LIFE プロデューサー、信州大学特任教授として活躍されている藤原美智子先生にお話を頂きました。昨年までヘアメイクアップアーティストとして42年間、美に携わって来られた経験と、現在のビューティ・ライフスタイルデザイナーとして、生き生きとした人生を送るためのアドバイスを4つの項目に分けてお話をして頂きました。

1. メイクアップ(目を縦に開く)

生き生きと、可愛らしい表情となる様に目を縦に開いて瞳を大きく見せる事が大切です。メイクは、1ミリ単位で印象が変わる事を学びました。

2. ボディメイク(首と鼠蹊部)

近年、いわゆる「スマホ首」と言われるスマートフォンの常用による首や、肩等に不具合が起こる症状から姿勢が悪くなる方が増加しています。血流が悪くなると顔や体にも影響が出る為、多忙な日々の中でも美しい姿勢を心掛け、自分自身の心も体も磨く事が大切だと学びました。また、ストレッチバンドを使用した簡単エクササイズも教えて頂きました。

3. インナービューティ(熱い・冷たい)

日常の隙間時間を利用して、自分を鍛える例として挙げられたのは「水シャワー」でした。お風呂上りに、足や手、頭皮に水シャワーを浴びると肌が引き締まり、肌色も良くなるそうです。

4. マインドビューティ(合言葉・紙10枚)

藤原先生は今まで多くの美に携わって来られました。たとえ骨格や、スタイルが良くても心に「鬱積」があるとオーラは見えません。心身のバランスを整える事で大きなオーラが生まれます。また、近年は自己肯定感の低い方が増加傾向です。要因の一つにSNSがあり、投稿を見ては自分と比較し、羨む事が多くなりがちです。今こそ考え方を改めて、自分らしさを追求する事、SNSは情報を得る参考書であり、決して羨む事をしないよう心掛けてほしいとお話されました。

時には「怒りの感情」が芽生えることもあります。解決方法の一つとして挙げられたのは、紙10枚に今感じている思いを全て書き出す方法です。書いているうちに、徐々に心も体もすっきりして、光指し示す方へ再び歩き出す事が出来ると力強くお話しされました。

藤原先生は講演の最後に、さわやかなパパ・かわいいママでいるためには、まずは「自分らしさを見つける事」が大切だとお話しされました。人々の意見に左右されない自分。ママだって一人の女性。自分の好きを追求して揺るがない「基軸」を持つ事の重要性を学ぶと同時に、藤原先生のお言葉一つひとつに大変共感を持ちました。講演会では、挙手をした会員の方が舞台上に上がり先生と楽しくトークを行う場面や、質疑応答にて沢山のアドバイスを頂く事ができました。

今回、この様な貴重なお話を伺う機会に恵まれました事に感謝すると共に、今後の子どもたちと過ごす時間にお役に立ていただければ幸いです。



(文責 父母の会連合会委員 加藤文恵)

県父母連委員総会報告

神奈川県私立幼稚園父母の会連合会の委員総会が6月29日(日)にかながわようちえん会館会議室で開催され、令和5年度常任委員が右記のとおり選出されました。よろしくお願いたします。



令和5年度父母の会連合会常任委員名簿

役職	氏名	園名	(協会)
会長	寺尾 康子	みゆき幼稚園	(川崎)
副会長	石崎 久美	玉縄幼稚園	(鎌倉)
副会長	矢澤 孝雄	初山幼稚園	(川崎)
会計	樽本万里子	ばらの幼稚園	(横浜)
会計	吉田 有加	認定こども園のほら幼稚園	(横浜)
委員	大塚 理香	スマレ幼稚園	(相和)
委員	加藤 文恵	恵泉幼稚園	(茅ヶ崎)
監事	田中 千鶴	善隣館幼稚園	(横浜)

教育相談事業

子育てに悩みはつきもの。子育ての悩みは「育ちの専門家」へ。神奈川県私立幼稚園連合会では、発達専門家 臨床発達心理士が無料でお悩みをお聞きます。ご予約をお待ちしています。

●実施曜日 毎週 火曜日 10:00~12:00/13:00~15:00
毎週 木曜日 10:00~12:00

●相談申込 電話またはホームページから、神奈川県私立幼稚園連合会事務局へ申込みください。

TEL. 045-440-3210

●ホームページ <http://www.shinshiyou.com/education.html>

